



通信 Sep.



日が暮れると虫の声がし始め、急に涼しくなりました。少し前の暑さが懐かしいです。季節の変わり目は寒暖の差が激しいので、風邪をひかないように注意しましょう。
個別港学舎 舎長 八木貴子

学習状況のお知らせ

学校行事が多く、その準備などでエネルギーを使いますが、上手に切り替えて、生活が乱れないように気を付けましょう。

受験生は本格的に学校選びをする時期です。学園祭や説明会にも足を運び、積極的に情報を集め、志望校を決めましょう。



いろはに偉人裏話「ね」

「ね」寧々(ねね又は於寧(おね))は豊臣秀吉の正室です。尾張の国の生まれで浅野長勝の養女でした。

信長がキューピット:信長が趣味の鷹狩をした帰りに、お供の秀吉とともに浅野家の屋敷に立ち寄りました。そこにいた寧々が信長と秀吉に茶を出したのです。その時、信長は寧々を「良い娘だ!と大変気に入り、「藤吉郎(当時の秀吉の名)、この娘を妻にしろ」と言いました。信長が気に入るほど寧々はたいそう美人だったようです。寧々は14歳、藤吉郎はまだ足軽。はじめは長屋暮らしの質素な生活でした。



このころ、同じ長屋で暮らしていた前田利家とその妻、松と親しかったようです。

あのハゲネズミ:寧々が秀吉の浮気癖に嫉妬して信長に相談しました。その返事の手紙には、「あのハゲネズミ(秀吉)には、お前ほどの素敵な女はもったいないのに、それがわからないのか、あのバカは。お前は本当に素晴らしい良い女で、この前久しぶりに会ったときは見違えた。だからそんな事にヤキモチを妬いてはいけない。格が下がってしまう。お前は正室らしく堂々と、どっしり構えていなさい。この手紙は秀吉にも見せてやりなさい。」と言うようなことが書いてありました。

北政所(きたのまんどころ):大阪城完成後、秀吉が関白に任官したことに伴い、「北政所」の称号を許されました。寧々は正室として子を授かることはできませんでしたが、天下人の妻として朝廷との交渉を一手に引き受けたほか、人質として集められた諸大名の妻子を監督したり、秀吉が遠征で不在の時には城主を代行するなど、豊臣家としての大役を担いました。

寧々の道:秀吉が没したのち、実母と秀吉の冥福を祈るために、徳川家康の後援を得て、京都東山に高台寺を建立しました。その門前に屋敷を構え亡くなるまでの19年間を過ごしました。高台寺西側に沿った石畳の道路は「ねねの道」と呼ばれ、今や有名な観光名所になっています。



旬! カボチャのレシピ

カボチャはウリ科カボチャ属の果菜で、原産は南北アメリカ大陸です。日本に入ってきたのは、ポルトガル人が鉄砲とともに種子島に持ち込んだと言われています。「カボチャ」は「カンボジア」がなまったものです。成分としては、アンチエイジング効果のあるビタミンC、E、そしてβカロテンが多く含まれています。他にもビタミンB、カリウム、食物繊維などを含む栄養豊かな野菜です。



「カボチャのサラダ」

電子レンジを使うと簡単にできて、栄養豊富、ちょっとしたサイドメニューになります。
材料 カボチャ:1/4、ハム:2枚、マヨネーズ:大3~4、ヨーグルトまたは牛乳:大2、塩、コショウ:少々、スライスアーモンドやレーズン:お好みで

- ①カボチャはそのまま電子レンジで柔らかくなるまで加熱する。(5000Wで6~8分)
- ②粗熱が取れたら、スプーンで種とワタを取り、3等分にする。
- ③2/3は皮を残し実だけをボールに入れ、フォークでつぶす。
- ④残りの1/3は半分にして薄切り、または粗みじん切りにしてボールに入れる。
- ⑤1cm角に切ったハムを

加え、塩、コショウ、ヨーグルト、マヨネーズを加え和え、味を調える。⑥お好みで、アーモンドやレーズンをトッピングすると、オシャレに出来上がり。



9月10日八木家メニュー